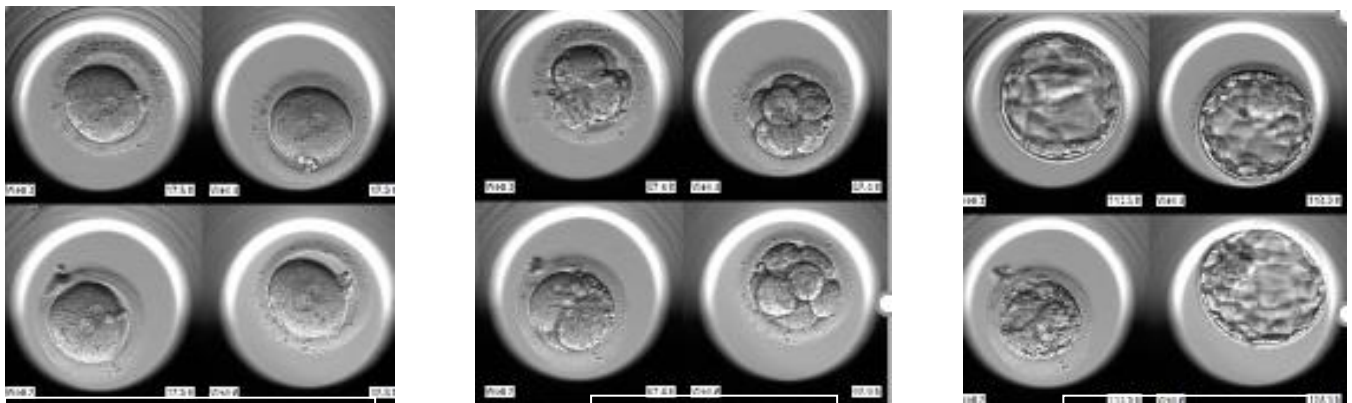


タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

当院は、採卵された患者様の受精卵（胚）を最新技術が搭載された培養庫にて観察しています。

培養庫の中に設置されたカメラが培養中の受精卵を一定間隔で撮影し、動画として解析できるタイムラプス技術搭載の胚培養機器（Embryo Scope™）を使用しています。

Embryo Scope™導入前は、胚の観察は1日から2日に1回培養庫より外に出して顕微鏡下に行っていました。本来、体内で受精し発育していく胚にとって、体外での環境は非常に過酷なものであり、悪影響を及ぼす可能性があります。しかし、Embryo Scope™は培養庫から出さずに、体内と同じような環境下で胚の成長過程を観察できるようになり、胚へのストレスが軽減されたといえます。



採卵翌日（培養1日目）

培養3日目

培養5日目

3つの特徴

①胚にやさしい培養環境

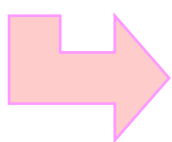
媒精から移植・凍結まで胚を外に出さずに培養できるため、胚の良好な発育環境を実現

②正確な受精診断

受精卵を一定間隔で撮影しているため、受精の過程を詳しく分析・診断が可能

③発育状態を詳しく分析

胚発育のスピードや分割パターンを経時的に追うことが可能



正確な診断
良好な胚の選択



妊娠率の向上が期待